

渋谷 東京好奇心 2018-2020

東京・パリ・ベルリン

欧米人の視線を通すと、日本文化はあらゆる意味で自分たちのそれとは異なって見えるようです。しかし実際に日本の歴史を振り返ると、日本社会はその発展、ライフスタイルの変化において、常に海外からの様々な影響を受け続けてきました。日本列島の中心に位置する首都、東京。その独自のカルチャーも多様な影響を受けることで、時間をかけて徐々に変化し、形づくられてきたものです。渋谷は、そんな東京の本質が色濃く現れたエリアです。渋谷の多面的な表情の中には、日本文化のコントラストやパラドックス、独自の魅力やエキゾチズムが凝縮されています。その一方、渋谷はパリやベルリンにも当てはまる世界都市・東京の特質もしっかり備えています。先祖から引き継いできた伝統や遺産、多様なカルチャーや近代性、さらサブカルチャーも共存し、実験やクリエイションを醸成するダイナミックな環境が存在するのです。

東京オリンピック・パラリンピックが目の前に迫った2018年、『TOKYO-GA』は、渋谷 Hikarie での展覧会を皮切りに3年間にわたる世界巡回の旅をスタートします。

『渋谷 東京好奇心 2018-2020』展は、SHIBUYA をテーマに、この街のユニークな魅力と可能性を世界と分かち合いながら、2018年11月のパリ、2019年のベルリンを経て、2020年の夏に東京に戻って参ります。皆様のご支援と共感をいただきながら、継続的に発展してゆきたいと願っております。

『渋谷 東京好奇心』

3つの都市をめぐる5つの展覧会

- | | |
|-------|---|
| 展覧会 1 | 会期： 2018年1月2日～1月8日
会場： 渋谷 ヒカリエ |
| 展覧会 2 | 会期： 2018年11月2日～11月30日
会場： パリ 4区市庁舎 |
| 展覧会 3 | 会期： 2019年1月～2月 (調整中)
会場： ル・カルーゼル・デュ・ルーブル |
| 展覧会 4 | 会期： 2019年初夏
会場： ベルリン (調整中) |

展覧会 5 会期： 2020年6月～7月（調整中）
 会場： 文化村 ザ・ミュージアム

『東京画』に寄せて

世界中のどの街にもない風景、都市の情景、垂直と水平のリズミカルなシンフォニーを奏でる東京メガロポリス。その絶妙な魅力、パワーとヴァイブレーションを「東京画」は見事に表現してくれることでしょう。

リチャール・コラス
シャネル株式会社 代表取締役社長

おそらく未来とは、圧倒的なスケールや明解なカタチをもってではなく、ごく少しずつ、だが確実に、現在に、この現実の空間に入り込んでくるものに違いない。中でもこの未来が最も入り込みやすい場所、居つきやすい空間が、東京という街なのではないだろうか。建物はそこに建っているにもかかわらず、無いようにも見え、空気のひとつの形、色、現象としての風景が存在する都市空間。

僕たちは知らず知らずのうちに、毎日少しずつ未来の空気を吸い、その色に染まっていつている。「東京画」の写真を見るとき、僕たちははっと気づく。こうやって優しく未来を受け入れる東京の寛大さに。そう言えば、自分が小さいころ見ていた東京の風景も、同じような優しい空気に包まれていた。写真が切り取る東京の今と未来。

「東京画」、東京を応援したい僕たちにとって素晴らしい企画です。

齋藤峰明
シーナリーインターナショナル株式会社 代表／元エルメス本社 副社長

優れた感性と卓越した技術を持つ100人の写真家が、躍動する東京の多様な姿、カタチ、魅力、ライフスタイルを写し取り世界に向けて発信する「東京画」。本プロジェクトは、世界を引きつけてやまない普遍的な価値となる可能性を秘めています。東京画は東京の意味を書き変える、輝く希望の光となるでしょう。

田中正人
工学博士／東京大学名誉教授